

アナグマ（イタチ科）は、タヌキやハクビシンよりも一回り大きく、森に好んで住むので、都会で見かけることはありません。私の山荘にもめったに現れません。しかし、今年は数日に一回見かけます。その理由がイノシシの減少らしいのです。今の時期、子ども（うり坊）を連れたイノシシの群れが山荘に現れて、地面のあちこちを掘り返します。地中にいるミミズを探しているのです。

ところが今年は、そのイノシシが激減しています。専門家のお話ですと、豚コレラの影響で、野生のイノシシも減っているらしいのです。イノシシが食べない分、庭の地中にミミズが増えたのでしょうか。今年はそれをアナグマが横取りしているというわけです。

かなりの至近距離で撮影したのですが、臆する様子もなく、30分以上ゆっくりと食事をして去って行きました。

